

2026年度

授 業 要 覧

Ph.D./D.B.A.

Programs



国際マネジメント研究科
国際マネジメントサイエンス専攻
青山学院大学

青山学院教育方針

青山学院の教育は
キリスト教信仰にもとづく教育をめざし、
神の前に真実に生き
真理を謙虚に追求し
愛と奉仕の精神をもって
すべての人と社会とに対する責任を
進んで果たす人間の形成を目的とする。

The Educational Policy of Aoyama Gakuin

*Aoyama Gakuin has as its aim
education based upon the Christian faith
and as its purpose the building up of persons
who live in sincerity before God,
who seek for truth with humility,
and who actively take responsibility for all people
and for society in a spirit of love and service.*

青山学院大学の理念

青山学院大学は、「青山学院教育方針」に立脚した、
神と人にとり仕え社会に貢献する
「地の塩、世の光」としての教育研究共同体である。
本学は、地球規模の視野にもとづく正しい認識をもって
自ら問題を発見し解決する知恵と力をもつ人材を育成する。
それは、人類への奉仕をめざす自由で幅広い学問研究を通してなされる。
本学のすべての教員、職員、学生は、
相互の人格を尊重し、建学以来の伝統を重んじつつ、
おのおのの立場において、
時代の要請に応えうる大学の創出に努める。

【国際マネジメント研究科国際マネジメントサイエンス専攻が目指すべき人材像】

- ・社会的責任を果たし、地球市民として活動する国際マネジメント分野の創造的研究者

Ph.D プログラム

【カリキュラムポリシー】

国際マネジメントサイエンス専攻の人材育成目的の達成のため、国際マネジメントの専門分野に関する先進的理論・事例について高度の質と内容を持つ研究に対応する教育として、下記のような教育課程を編成する。

- ・博士論文研究のアドバイスを行う研究演習・研究指導を設ける。
- ・幅広い分野に関する研究手法を習得するための問題発見能力および問題解決能力に必要な定量的・定性的方法の科目を設ける。

この他、指導教員以外から適切な指導を受けることおよび論文作成の進捗状況を把握することを目的として博士学位中間報告および学位申請論文最終報告会を設ける。

【ディプロマポリシー】

①知識・技能

- ・国際マネジメントの専門分野に関する先進的理論・事例を修得している。

②思考力・判断力・表現力

- ・国際マネジメント分野に関する独創的・先進的な研究テーマの設定ができる。
- ・国際マネジメント研究に必要とされる先端的な分析能力を修得している。
- ・国際マネジメント研究に必要とされるコミュニケーション能力を修得している。

③意欲・関心・態度

- ・国際マネジメント研究に必要とされる経営倫理とグローバルな視野を修得している。

D.B.A.プログラム

【カリキュラムポリシー】

国際マネジメントサイエンス専攻の人材育成目的の達成のため、国際マネジメントの専門分野に関する先進的理論と実務への応用について高度の質と内容を持つ研究に対応する教育として、下記のような教育課程を編成する。

- ・博士論文研究のアドバイスを行う研究指導を設ける。
- ・幅広い分野に関する研究手法を習得するためのコースワーク科目を設ける。

この他、指導教員以外から適切な指導を受けることおよび論文作成の進捗状況を把握することを目的として博士学位中間報告および学位申請論文最終報告会を設ける。

【ディプロマポリシー】

①知識・技能

- ・国際マネジメントの専門分野に関する先進的理論を修得しており、事例への応用ができる。

②思考力・判断力・表現力

- ・国際マネジメント分野に関する学術的なリサーチクエスチョンの設定ができる。
- ・国際マネジメント研究に必要とされる先端的な分析能力を修得しており分析結果の実務への応用ができる。
- ・国際マネジメント研究に必要とされるコミュニケーション能力を修得している。

③意欲・関心・態度

- ・国際マネジメント研究に必要とされる経営倫理とグローバルな視野を修得している。

目 次

I. 学事暦	1
II. 教員組織	2
III. 国際マネジメント研究科履修規定	5
1. 修了要件について	5
1) Ph.D.プログラム	5
2) M.A.	5
3) D.B.A.プログラム (3年次編入)	6
2. カリキュラムについて	7
1) 授業科目と配置	7
2) 単位制について	7
3) 既修得単位の認定について	8
4) 国際マネジメント専攻専門職学位課程出身者の既修得単位の認定について	8
3. 履修について	8
1) 履修登録について	8
2) 履修制限単位	9
3) 同一名称科目の履修について	9
4) 同一曜日同一時限科目の履修について	9
5) 国際マネジメント演習科目について	9
6) 他研究科科目について	9
7) 協定大学院科目について	10
8) 青山アクション・ラーニング科目について	10
9) 「海外研修セミナー」について	10
10) 「国際マネジメント・セミナー」について	10
11) 研究演習・研究指導について	10
12) 履修取消制度について	10

4. 授業について	11
1) 授業時間	11
2) 授業教室について	11
3) 休講について	11
4) 補講について	11
5) 授業の欠席について	12
6) 授業評価アンケートについて	12
5. 試験・レポート、成績評価について	12
1) 試験・レポートについて	12
2) 成績について	12
6. 博士課程研究発表会について	13
7. 研究指導計画	13
8. 学位申請論文提出までの諸注意	15
1) 「進路申請書」「進級資格試験」(Ph.Dプログラム対象)	15
2) 研究倫理教育の受講について	15
3) 「研究計画評価」(公開指導委員会)	15
4) 「中間報告審査」(公開指導委員会)	16
5) 「最終報告」(5年次)	16
6) 「博士論文最終審査」	16
7) 学位論文審査基準	16
8) 学位申請論文の提出について	16
9) 博士学位申請論文提出フローチャート	17
10) 論文および論文要旨の様式	18
11) 博士論文のインターネットの利用による公表について	18
9. カリキュラムと担当者	20
10. 学籍等について	26
1) 修業年限(在学期間)	26
2) 休学	26
3) 復学	26
4) 退学	26

5)再入学	27
6)除籍	27
11. 専門職大学院教務課の事務取扱について	28
12. 国際マネジメント研究科合同研究室の事務取扱について	28
13. 授業担当教員への連絡について	28
14. 青山キャンパスマップ	29
IV. 学生生活上の諸注意	30
1. 窓口事務取扱内容および取扱時間	31
2. 大学院からの通知連絡について	31
3. 各種証明書について	31
4. 大学礼拝	32
5. 緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について	32

I. 学事暦

2026（令和8）年度 国際マネジメント研究科 学事暦

	【 前 期 】	【 後 期 】		
宗 教 行 事	イースター礼拝	4月6日(月)	チャペル・ウィーク(後期)	10月19日(月)～23日(金)
	新入生歓迎礼拝	4月 7日(火)～17日(金)	宗教改革記念礼拝	10月29日(木)
	チャペル・ウィーク(前期)	5月18日(月)～22日(金)	創立記念礼拝	11月16日(月)
	ジョン・ウェスレー回心記念礼拝	5月25日(月)	クリスマス・ツリー点火祭	11月27日(金)
	ペンテコステ礼拝	5月25日(月)	クリスマス礼拝(青山)	12月15日(火)
			クリスマス礼拝(相模原)	12月17日(木)
		リーダーシップ・カレッジ	2027年2月3日(水)～5日(金)	
		卒業礼拝	2027年3月27日(土)	

国 民 の 休 ・ 祝 日	昭和の日	4月29日(水)	スポーツの日	10月12日(月)
	憲法記念日	5月 3日(日)	文化の日	11月 3日(火)
	みどりの日	5月 4日(月)	勤労感謝の日	11月23日(月)
	こどもの日	5月 5日(火)	元日	1月 1日(金)
	(振替休日)	5月 6日(水)	成人の日	1月11日(月)
	海の日	7月20日(月)	建国記念の日	2月11日(木)
	山の日	8月11日(火)	天皇誕生日	2月23日(火)
	敬老の日	9月21日(月)	春分の日	3月21日(日)
	国民の休日	9月22日(火)	(振替休日)	3月22日(月)
	秋分の日	9月23日(水)		

日	月	火	水	木	金	土	前期	日	月	火	水	木	金	土	後期
4	5		1	2	3	4	3月28日(土)～11日(土)オリエンテーション&履修ガイダンス・健康診断 4月1日(水) 入学式(学部・大学院) 4月3日(金) 前期授業開始 4月4日(土)、5日(日)オリエンテーションキャンプ	10	4			1	2	3	10月10日(土)～11日(日) 相模原祭期間 10日(土)は相模原キャンパスのみ休講
5	6	7	8	9	10	11		11	12	13	14	15	16	17	10月12日(月)[スポーツの日]は授業実施日
6	7	8	9	10	11	12	4月15日(水) 前期履修登録最終日	18	11	12	13	14	15	16	10月30日(金)～11月1日(日) 青山祭期間(両キャンパス休講)
7	8	9	10	11	12	13	4月29日(水) [昭和の日]は授業実施日 4/26,5/3,5/4,5/5 国際マネジメントエッセンシャルズ	18	19	20	21	22	23	24	
8	9	10	11	12	13	14		25	26	27	28	29	30	31	
9	10	11	12	13	14	15		31							
10	11	12	13	14	15	16	5月29日(金)、6月4日(木) 試験・補講実施可能期間	1	2	3	4	5	6	7	11月9日(月)、11月12日(木)～14日(土) 試験・補講実施可能期間
11	12	13	14	15	16	17		8	9	10	11	12	13	14	11月16日(月)[創立記念日]は授業実施日
12	13	14	15	16	17	18		15	16	17	18	19	20	21	
13	14	15	16	17	18	19		22	23	24	25	26	27	28	
14	15	16	17	18	19	20		29	30						
15	16	17	18	19	20	21	6月13日(土) アドバイザー・グループ・デー(両キャンパス授業実施)	6	7	8	9	10	11	12	12月23日(水)～1月7日(木) 冬期休業期間
16	17	18	19	20	21	22		13	14	15	16	17	18	19	
17	18	19	20	21	22	23		20	21	22	23	24	25	26	
18	19	20	21	22	23	24		27	28	29	30	31			
19	20	21	22	23	24	25	7月20日(月) [海の日]は授業実施日 7月24日(金)～7月31日(金) 試験・補講実施可能期間	7	8	9	10	11	12	13	11月8日(金) 後期授業再開
20	21	22	23	24	25	26		14	15	16	17	18	19	20	11月15日(金)～17日(日) 大学入学共通テスト準備日・実施日 (1月15日(金)・16日(土) 青山キャンパスのみ休講)
21	22	23	24	25	26	27		21	22	23	24	25	26	27	11月26日(火)～2月2日(火) 試験・補講実施可能期間
22	23	24	25	26	27	28		28	29	30	31				
23	24	25	26	27	28	29	8月1日(土)～9月12日(土) 夏期休業期間	1	2	3	4	5	6	7	2月3日(水)～3月27日(土) 春期休業期間
24	25	26	27	28	29	30		8	9	10	11	12	13	14	
25	26	27	28	29	30	31		15	16	17	18	19	20	21	
26	27	28	29	30	31			22	23	24	25	26	27	28	
27	28	29	30	31				29	30	31					
28	29	30	31												
29	30	31													
30	31														
31															
1	2	3	4	5	6	7	9月14日(月) 後期授業開始	3	4	5	6	7	8	9	
2	3	4	5	6	7	8		14	15	16	17	18	19	20	
3	4	5	6	7	8	9		21	22	23	24	25	26	27	3月27日(土) 学部・大学院学位授与式
4	5	6	7	8	9	10	9月21日(月) [敬老の日]は授業実施日 9月24日(木) 後期履修登録最終日 9月26日(土) 9月学部・大学院学位授与式	7	8	9	10	11	12	13	
5	6	7	8	9	10	11		14	15	16	17	18	19	20	
6	7	8	9	10	11	12		21	22	23	24	25	26	27	
7	8	9	10	11	12	13		28	29	30	31				
8	9	10	11	12	13	14									
9	10	11	12	13	14	15									
10	11	12	13	14	15	16									
11	12	13	14	15	16	17									
12	13	14	15	16	17	18									
13	14	15	16	17	18	19									
14	15	16	17	18	19	20									
15	16	17	18	19	20	21									
16	17	18	19	20	21	22									
17	18	19	20	21	22	23									
18	19	20	21	22	23	24									
19	20	21	22	23	24	25									
20	21	22	23	24	25	26									
21	22	23	24	25	26	27									
22	23	24	25	26	27	28									
23	24	25	26	27	28	29									
24	25	26	27	28	29	30									
25	26	27	28	29	30	31									
26	27	28	29	30	31										
27	28	29	30	31											
28	29	30	31												
29	30	31													
30	31														
31															

1. □囲み表示日は学事上の休講日
2. ◻表示日は休・祝日
3. ○囲み表示日は休日授業実施日
4. ■アミかけ表示日は補講日(通常授業は休講)
5. ◻アミかけ表示日は関連キャンパスのみ休講
6. □囲み表示は振り替え授業日

II. 教員組織

1) 国際マネジメント研究科役職者

研究科長: 細田 高道
専攻主任: 黒岩 健一郎

2) 国際マネジメント研究科専任教員

(50音順)

教授	市野 初芳	博士(法学)(名古屋経済大学)、「財務諸表論」
教授	伊藤 晴祥	Ph.D. (International Management) (University of Hawaii) 博士(政策・メディア)(慶應義塾大学)、「コーポレート・ファイナンス」
教授	岩井 千明	博士(経営学)(横浜国立大学)、「マネジメント・ゲーム」
教授	黒岩 健一郎	博士(経営学)(慶應義塾大学)、「戦略的マーケティング」
教授	澤田 直宏	博士(商学)(一橋大学)、「競争戦略」
教授	島田 由紀	Ph.D. (Theology) (Princeton Theological Seminary) 「ビジネス倫理」
教授	須田 敏子	Ph.D. (University of Bath)、「人材マネジメント」
教授	中里 宗敬	工学修士(東京工業大学)、「FAST」
教授	中野 勉	Ph.D. (Columbia University)、「ビジネス・プランニング」
教授	福井 義高	Ph.D. (Carnegie Mellon University)、「財務会計」 (後期特別研究期間)
教授	細田 高道	Ph.D. (経営学) (Cardiff University)、「オペレーションズ・マネジメント」
教授	森田 充	博士(経済学)(九州大学)、「統計分析 I」
准教授	北野 泰樹	博士(経済学)(東京大学)「ゲーム理論とマネジメント」
准教授	中塚 昭宏	博士(工学)(慶應義塾大学)、「サプライチェーン・モデリング」
准教授	西井 真祐子	博士(商学)(早稲田大学)、「消費者購買行動」
准教授	廣瀬 雄大	Ph.D. (工学) (University of Cambridge) 「アントレプレナーシップ」
助教	NICHOLS, David	M.B.A. (University of California)「意思決定の経済学」
特任教授	熊平 美香	M.B.A. (Harvard University)、「ソーシャル・イノベーション」
特任教授	関 秀敏	M.B.A. (INSEAD 経営大学院)、「AI と経営戦略」

3) 兼任教員

稲垣 中	教育人間科学部教授、「医療経済学」
------	-------------------

4) 寄附講座教員

岩田 宜子 (客員教授)	ジェイ・ユラス・アイ・アール(株)寄附講座「アドバンスト・コーポレート・コミュニケーション」 同(株)取締役会長
小方 信幸 (客員教授)	ジェイ・ユラス・アイ・アール(株)寄附講座「コーポレート・コミュニケーション」「アドバンスト・コーポレート・コミュニケーション」
水野 義和	(株)ゴールトウイン 寄附講座「スポーツ・アウトドア・ブランド論」 同(株) ゴールトウイン IR 室長
稲村 淳	(株)ゴールトウイン 寄附講座「スポーツ・アウトドア・ブランド論」 同(株) 総合企画本部 IR 室 IR グループマネージャー
黒田 明彦	企業広報戦略研究所(電通 PR コンサルティング) 寄附講座「ハブリックリレーションズ I・II」 同研究所 フェロー
強瀬 理一	東京さらぼシフィナンシャルグループ寄附講座「知的資産型経営」 (株)さらぼしコンサルティング エグゼクティブアドバイザー
高柳 圭介	EY Japan 寄附講座「DX と組織・人材戦略」 EY ストラテジー・アンド・コンサルティング(株) ピープル・コンサルティング パートナー
名川 知志	一般社団法人グリーンカラー・プラネット寄附講座「次世代デジタルイノベーション I・II」
小林 信三	一般社団法人グリーンカラー・プラネット寄附講座「次世代デジタルイノベーション I・II」 同法人 理事/CTO
羽間 裕貴	一般社団法人グリーンカラー・プラネット寄附講座「次世代デジタルイノベーション I・II」 イノベーション・ポイント(株) 執行役員 AI Innovation Hub 代表
橋場 剛	ビジネスコーチ(株)寄附講座「コーチングとリーダーシップ」 同(株) 取締役副社長
長谷川 一英	(株)リンクアントモチベーション寄附講座「イノベーションとアート」 (株)E&K Associates 代表
相田 哲也	アマゾンジャパン合同会社寄附講座「イノベーションと組織文化」 アマゾンウェブサービスジャパン(同) ストラテジックパートナー統括本部 統括本部長
松本 肇子	アマゾンジャパン合同会社寄附講座「イノベーションと組織文化」 アマゾンウェブサービスジャパン(同) プリンシパルイノベーションスペシャリスト
古屋 美佐子	アマゾンジャパン合同会社寄附講座「イノベーションと組織文化」 アマゾン カイパー ジャパン(同)エンタープライズ事業本部 統括本部長
佐渡 誠	KPMG コンサルティング株式会社寄附講座「ビジネスイノベーション」 (同)(株) 副代表 執行役員戦略・イノベーション統括

※上記職名は、2026年3月時点のものです。

5) 非常勤講師

KHATRI, S. L.	「プロジェクトマネジメントとリーダーシップ」
MAYES, Thomas O.	ウーブン・バイ・トヨタ(株) 「複雑性下のリーダーシップ」
赤井 俊一	(株)電通 シニアソリューション・ディレクター 「マーケティング・コミュニケーション」
伊藤 大輔	日本プロジェクトソリューションズ(株) 代表取締役社長 「プロジェクト・マネジメント」
大澤 裕	(株)ピンポイント・マーケティング・ジャパン 代表 「国際営業と交渉術」
梶野 真弘	(株)野村総合研究所 エキスパートコンサルタント 「経営戦略とオペレーションズ・マネジメント」
北村 智紀	武蔵大学経済学部 教授 「インバースメント」

小谷 恵子	東海大学観光学部 准教授 「地域活性化のマーケティング」
小林 敦	「リスク・マネジメントとコンプライアンス」「ソーシャル・アントレプレナーシップ」「ソーシャル・イノベーション」
小林 知行	リサーチ&コンサルティング エニット1 センtralマネージャー「サブライゼーション・マネジメントの理論と実践」
清水 絹代	「異文化マネジメントとリーダーシップ」、「プレゼンテーション・スキル」「英語プレゼンテーション入門」「国際経営とリーダーシップ」
進藤 美希	東京工科大学メディア学部 教授 「デジタル・マーケティング」
須田 真魚	演劇家 俳優 「ビジネスへの演劇アプローチ」
丹治 秀明	(株)日立ソリューションズ 東日本 主任技師 「サブライゼーション・マネジメントの理論と実践」
永石 尚子	和光大学経済経営学部 教授 「キャリアとリーダーシップ」
林 順一	「コーポレート・ガバナンス」
平本 奈央子	「人材マネジメント」
広瀬 彩	(株)ヒラホ CEO 「ビジネスへの演劇アプローチ」
福井 一枝	「マネジメント・ゲーム」
藤浪 啓	(株)野村総合研究所 エキスパート 「経営戦略とオペレーションズ・マネジメント」
藤野 直明	(株)野村総合研究所 産業 IT イノベーション事業本部 シニアチーフストラテジスト 「経営戦略とオペレーションズ・マネジメント」
松浦 良高	(株)StrategyX 代表取締役 CEO/戦略プランニングディレクター 「ブランド戦略」
水野 学	日本大学商学部 教授 「流通システム戦略」
宮田 富美代	宮田公認会計士事務所代表 公認会計士 「アカウンティング」
森川 美幸	東京工科大学 准教授 「エンタテインメント・ビジネス」
山本 圭一	ビジネスエンジニアリング(株) 部長 「サブライゼーション・マネジメントの理論と実践」
吉野 貴晶 (客員教授)	「企業分析とファントム・マネジメント・シミュレーション I・II」
吉橋 昭夫	デザインコンサルタント 「デザイン・シンキング」

※上記職名は、2026年3月時点のものです。

Ⅲ. 国際マネジメント研究科履修規定

1. 修了要件について

1) Ph.D.プログラム

【修了要件】

1. 標準修業年限 5 年以上の在学
※最終学年は通年で在学している必要があります。
2. 学位申請論文審査および最終試験合格
3. 所定の 46 単位以上の修得
4. 1 外国語認定合格(下記のいずれかによる)
 - ・国際会議での研究発表(在学中)
 - ・外国学術査読雑誌(査読論文)への発表(在学中)
 - ・TOEIC860 点以上の得点
5. 査読論文もしくは、これに相当するものを 1 本以上の発表

【修了要件単位数】

分類	I	II	III	IV	V	計
コード	000	100/200	100/200/250/300/350/400/450/500	600	700	
単位数	4	10	14	6	12	46

【研究演習・指導】

第 1 年次		第 2 年次		第 3 年次		第 4 年次		第 5 年次	
—	演習 I	演習 II	演習 III	指導 I	指導 II	指導 III	指導 IV	指導 V	指導 VI

【授与学位】 博士(国際経営学)/Ph.D. (Doctor of Philosophy in Management)

2) M.A.

Ph.D.プログラムに 2 年以上在籍し、修士学位を取得し、退学する場合。

【学位取得要件】

- 1 標準修業年限 2 年以上の在学
2. 所定の 34 単位以上の修得
3. 修士論文の審査および最終試験の合格
4. TOEIC730 点以上の得点

【学位取得要件単位数】

分類	I	II	III	IV	計
コード	000	100/200	100/200/250/300/350/400/450/500	600	
単位数	4	10	14	6	34

【研究演習】

第 1 年次		第 2 年次	
—	演習 I	演習 II	演習 III

【授与学位】 修士(国際経営学)/M.A. (Master of Arts in International Management)

3) D.B.A.プログラム (3年次編入)

【修了要件】

1. 標準修業年限3年以上の在学
※最終学年は通年で在学している必要があります。
2. 学位申請論文審査および最終試験合格
3. 所定の16単位以上の修得
4. 1 外国語認定合格(下記のいずれかによる)
 - ・国際会議での研究発表(在学中)
 - ・外国学術査読雑誌(査読論文)への発表(在学中)
 - ・TOEIC860点以上の得点
5. 査読論文もしくは、これに相当するものを1本以上の発表

【修了要件単位数】

分類	I	II	III	IV	V	計
コード	000	100/200	100/200/250/300/350/400/500	600	700	
単位数	4	0	0	—	12	16

【研究指導】

第3年次		第4年次		第5年次	
指導Ⅰ	指導Ⅱ	指導Ⅲ	指導Ⅳ	指導Ⅴ	指導Ⅵ

【授与学位】 博士(経営管理)/D.B.A.(Doctor of Business Administration)

2. カリキュラムについて

1) 授業科目と配置

授業科目は次の通り区分されます。

- ・方法論研究科目(000)
博士課程の選択必修科目。論文作成のために必須の科目。
- ・基礎研究科目(100)
1年次に履修。企業経営の各分野を概観し、ビジネスの基礎を修得する科目。
- ・基礎研究科目(200)
経営各分野の共通の基礎となる科目。高い倫理観と国際的視野等の資質を身に着けるための関連科目。
- ・基礎コミュニケーション科目(250)
グローバルなビジネスで必要な基本的コミュニケーションスキルに関連する科目。
- ・応用研究科目(300)
4つの専門分野(ストラテジー&オーガニゼーション、マーケティング、ファイナンス&アカウントティング、オペレーションズ&情報システムズ)から構成される。各分野の専門性を高め、企業経営の専門的知識を修得する科目。
演習科目もここに含まれます。
- ・共通専門科目(350)
ビジネスの横断的、発展的なテーマを扱う科目。
- ・他研究科科目(400)
本学他研究科の科目で本研究科学生が履修することができる科目。
- ・協定大学院科目(450)
国際マネジメント研究科と聴講生に関する単位互換の協定を締結した他大学院の授業科目。
- ・青山アクション・ラーニング科目(500)
実践的なシミュレーション・ゲームや企業分析、事業計画策定などを行い、学んだ知識を実際に活用する、MBAプログラムの知識の総まとめとなる科目。
- ・研究演習科目(600)
Ph.D.プログラム学生用の科目。1年次後期および2年次配置必修科目。履修順序があります。研究指導教員の「研究演習」科目を履修してください。
- ・研究指導科目(700)
論文作成のための3年次以降配置必修科目。履修順序があります。研究指導教員(主査)の「研究指導」科目を履修してください。

2) 単位制について

- ①授業科目の履修には単位制が採用されています。
単位制とは、入学年度の履修規定に定められた一定の基準に従って授業科目を履修し、所定の試験・レポート等に合格することによって、その授業科目に与えられている単位を修得していく制度です。
- ②各授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、授業の方法に応じ、当該授業科目による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により計算するものとします。
 - ・講義および演習については、15時間から30時間までの範囲で行われる授業をもって1単位とします。
 - ・実験、実習および実技については、30時間から45時間までの範囲で行われる授業をもって1単位とします。
 - ・ここで言う1時間とは、授業時間45分を表します。本学での1時限の授業は90分で行われるので、単位計算上は1時限=2時間分の授業となります。
半期の講義科目では15週×2時間=30時間分=2単位となります。
 - ・授業はおおむね前期あるいは後期の15週をもって完結するものとします。

3) 既修得単位の認定について

新たに入学した1年生で、本学入学以前に他大学院ですでに修得した単位があり、修得済単位として認定を受けたい学生は、指定された期間(入学式翌日～前期授業開始日)に専門職大学院教務課に必要書類を提出し、申請してください。内容確認後、教授会の承認を経て、既修得単位として認定します。ただし、申請されても認定されない場合もあります。

必要書類:成績証明書、授業要覧、講義内容、シラバス、教科書等、認定を希望する科目の内容が分かるもの。

4) 国際マネジメント専攻専門職学位課程出身者の既修得単位の認定について

①本研究科国際マネジメント専攻で修得した科目の単位認定は行いません。

②研究上必要な科目は、研究指導担当教員および授業科目担当教員の承諾を得て、国際マネジメント専攻で修得した科目と同じ名称の科目の講義の履修登録が可能です。

3. 履修について

1) 履修登録について

本学の履修登録は、特別な指示がある科目以外はすべて Web 上の「Web 履修登録システム」を利用して、履修登録期間中に各自で登録を行います。履修登録期間中であれば、一度登録をした科目を変更、削除することも可能です。履修登録期間は「学生ポータル」で確認してください。

※通年科目の履修登録は、前期科目の履修登録期間に行ってください。

※『履修登録システム利用案内』をよく読み、各自の責任において、履修登録期間内に履修登録を完了してください。履修登録期間終了後の履修登録の変更は認められません。履修が確定した後、各自「今年度履修登録情報」の画面を印刷し、誤りがないか必ず確認し、年度末まで保管してください。適切に履修登録が行われなかったことによって生じる不利益について、大学は一切責任を負いません。

履修登録期間終了後、最高履修制限単位の超過や登録の不備があった場合には大学側で登録の削除を行うことがあります。

なお、履修登録をしていない授業に出席することや試験を受けても単位を修得できないばかりか、不正行為として学生処分の対象となりますので注意してください。(「試験における不正行為者処分規則施行細則」第2条参照)

履修登録最終日はシステムへのアクセスが多く、登録に時間がかかるため、余裕をもって履修登録を完了してください。

エラーが表示された場合は、各自マニュアルを参照し、適切な対処をしてください。自分で解決できない場合は、専門職大学院教務課に相談してください。

他研究科科目の履修については、「6) 他研究科科目について」を参照してください。

なお、期日までに履修登録をしない場合は、修学の意味がないものとして、大学院学則第24条に基づき除籍処分となるので、十分に注意してください。

2) 履修制限単位

次表に定める履修制限単位を超えての履修登録はできません。

	1年次		2年次			
	前期	後期	前期	後期		
Ph.D.コース	14	16	18	18		
Ph.D.コース D.B.A.コース (3年次編入)	3年次		4年次		5年次	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
	10	10	14	10	10	10

- ① 入学前に他大学院で修得し、入学後に認定された単位は履修制限単位に含めません。
- ② 「国際マネジメントエッセンシャルズ」の単位は、前期の履修制限単位に含めます。
- ③ 「海外研修セミナーⅠ」の単位は、前期の履修制限単位に含めます。
- ④ 「海外研修セミナーⅡ」の単位は、後期の履修制限単位に含めます。
- ⑤ 通年科目の単位は、前期の履修制限単位に含めます。

3) 同一名称科目の履修について

既に単位を修得した科目を、再度履修登録することはできません。ただし、下記科目は担当者が異なる場合複数回履修が可能です。

「国際マネジメント演習Ⅰ・Ⅱ」・・・3回

「海外研修セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ」、「国際マネジメント・セミナーⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」・・・2回

※上記科目以外で、前期に不合格となった科目を同一年度の後期に再度履修登録することはできません。

4) 同一曜日同一時限科目の履修について

同一曜日の同一時限に2科目以上の授業科目を重複して履修登録することはできません。

(同一学期の前半および後半に配置された科目を履修登録することによる重複は除く)

5) 国際マネジメント演習科目について

演習科目は、少人数(数名から10名程度)で運用され、担当教員の掲げるテーマに基づいて、インタラクティブな講義・討議がなされます。

※修了までに6単位まで履修が可能です。

6) 他研究科科目について

他研究科において国際マネジメント研究科学生に対して履修可能としている科目を履修することができ、400番台科目としてみなされます。単位は修了までに450番台と合計で4単位まで履修が可能です。

講義日程、時間割、シラバスは科目を開講する研究科の窓口およびWEBの「講義内容検索」で早目に確認してください。他研究科科目は授業実施日、履修条件が国際マネジメント研究科と異なりますので注意が必要です。

履修にあたっては、履修登録期間最終日まで下記①～④の手続きを行ってください。

- ① 専門職大学院教務課にある「科目履修申込票」に必要事項を記入
- ② 当該授業の授業担当教員の承認印をもらう
- ③ 専門職大学院教務課へ「科目履修申込票」を提出
- ④ 各自で履修登録

他研究科科目の休講・補講、試験・課題レポート等の情報は、各研究科が指定する連絡方法によって確認してください。

7) 協定大学院科目について

1年次後期から国際マネジメント研究科と聴講生に関する単位互換の協定を締結した他大学院の授業科目を履修することができ、450番台科目としてみなされます。単位は修了までに400・450番台合計で4単位まで履修が可能です。※2026年度は開講しません。

8) 青山アクション・ラーニング科目について

青山アクション・ラーニング科目(500番台科目)はMBAプログラムの知識の総まとめの科目として位置づけられています。修了までに1科目(I・IIに分かれている場合は併せて1科目とみなす)のみ履修登録ができます。500番台科目を履修しようとする者は、後期に所定の手続きにより履修申請を行い、履修許可を得なければなりません。それぞれの科目は人数制限があり、選考を行います。なお、履修希望者が5名以下の場合、その年度は休講となる場合があります。

9) 「海外研修セミナー」について

夏期休業・春期休業期間中に約1週間の日程で実施する海外研修への参加と、海外研修前・後の課題レポートの提出により2単位が修得できる科目です。詳細が決まりましたら「学生ポータル」にてお知らせします。

※「海外研修セミナーⅠ」は2026年2月に実施し、2026年度前期科目として扱われます。

10) 「国際マネジメント・セミナー」について

今年度の「国際マネジメント・セミナーⅢ・Ⅳ」は開講が未定のため、詳細が決まりましたら「学生ポータル」にてお知らせします。

11) 研究演習・研究指導について

国際マネジメント研究科博士課程は、複数研究指導体制をとっています。従って、学生は所定の手続きに従い所定の期日までに研究指導教員(主査)1名と研究指導教員(副査)2名を決めなければなりません。主査、副査の研究指導教員は本研究科の専任教員とします。

◎研究主題届・研究指導教員の登録

研究主題および研究指導教員の登録は所定届出用紙により行います。指導教員の承認印を受け、登録してください。

○登録締切日:研究主題届:2026年4月17日(金)

研究指導教員届:2026年9月25日(金)

○登録受付場所:専門職大学院教務課(17号館2階)

◎研究主題、研究指導教員変更届について

研究主題、研究指導教員に変更があった場合は、所定の用紙にて届けてください。

所定用紙はABSウェブサイトよりダウンロードしてください。

◎研究指導のみを履修する場合

標準修業年限以上在籍し、修了要件の単位を修得済で、さらに授業科目を履修せず、研究指導のみを履修したい場合は、所定の用紙を専門職大学院教務課へ提出してください。

所定用紙はABSウェブサイトよりダウンロードしてください。

12) 履修取消制度について

授業の内容が勉強したいものと異なっていた場合、前期科目は前期科目の履修登録期間終了後定められた期間内、後期科目は後期科目の履修登録期間終了後の定められた期間内であれば履修を取りやめることができます。ただし、履修を取りやめるだけであって、その分の履修を追加登録することはできません。

対象者:全入学年度の在学生

対象科目:以下①、②、③を除く全科目

- ① 事前登録科目(履修登録期間中に大学側が登録する科目を含む)
- ② 人数制限を行う科目
- ③ 履修にあたり、許可を必要とする科目

履修取消科目の扱い:本制度を利用して取り消した前期科目と同一名称の科目を後期に履修することはできません。(国際マネジメント演習を除く)

履修取消科目の単位の扱い:本制度を利用して取り消した科目の単位数は、当該年度の申請単位数に含まれます。ただし、GPA 算出における履修登録総単位数には含まれません。

履修取消科目の成績評価の表示:成績通知書「W」。成績証明書には記載されません。
履修取消申請受付期間や申請方法は、「学生ポータル」で確認してください。

※この制度による履修取消科目の単位は、標準修業年限を超過して在学する学生の学費の計算に際して、単位数に含まれます。履修取消科目の単位分は、学費の減額となりませんので、注意してください。

4. 授業について

1)授業時間

1時限	9:00～10:30
礼 拝	10:30～11:00
2時限	11:00～12:30
3時限	13:20～14:50
4時限	15:05～16:35
5時限	16:50～18:20
6時限	18:30～20:00
7時限	20:10～21:40

2)授業教室について

教室については、別紙「時間割表」に掲載されています。

教室が変更になる場合、「学生ポータル」および教室掲示にて伝達します。特に各学期の授業開始直後の2週間は変更がないかどうか注意が必要です。

本研究科は主として17号館8、11階の教室を使用します。キーコード入力によって、入室を管理している教室があり、キーコードを忘れると入室できないため注意が必要です。

教室棟、建物の配置図については、「14.青山キャンパスマップ」を参照してください。

3)休講について

授業が休講になる場合は「学生ポータル」で伝達します。休講情報がないにも関わらず授業開始から30分以上経過しても担当教員が来ず、連絡もない場合は専門職大学院教務課および国際マネジメント研究科合同研究室にお問い合わせください。

4)補講について

休講となった授業に対し、補講を行う場合があります。補講は、学事暦に記載されている期間および授業期間中の主に土曜日に実施されます。上記指定日以外に補講を行う場合もありますが、補講に関する情報は、授業担当者より伝達、または「学生ポータル」で発表しますので、随時確認してください。

5) 授業の欠席について

体調不良、勤務の都合、忌引等で授業を欠席した場合、次回の授業時に直接担当教員に申し出て指示を受けてください。教員によっては、事前に教員指定のメールアドレス宛に欠席の連絡を送信するように指示している場合があるので、初回の講義の際に教員に確認してください。なお、長期にわたる欠席の場合は、専門職大学院教務課に相談してください。
※本学は忌引の制度はありません。

6) 授業評価アンケートについて

本研究科の授業とカリキュラムの改善を目的に、各講義・演習等の最終回に、学生による授業評価アンケートを実施しています。集計結果は学生ラウンジ等に、後日公開されます。

5. 試験・レポート、成績評価について

1) 試験・レポートについて

期末試験、期末レポートについては、授業担当教員の指示に従ってください。

2) 成績について

① 成績評価

学業成績は、科目ごとに100点満点で評価し、60点以上を合格とし、所定の単位が与えられます。成績証明書及び成績通知書の成績欄はAA,A,B,C等の評語により表示します。なお、不合格(欠席による不合格を含む)科目は、成績通知書にのみ1年間表示されますが、成績証明書には記載されません。

実点数範囲	学生への成績通知	成績証明書の記載
100点～90点	AA	AA
89点～80点	A	A
79点～70点	B	B
69点～60点	C	C
59点以下または不合格	XX	表示せず
欠席等評価不能*	X	表示せず

※試験未受験、レポート未提出、成績不良等で評価不能であることを表す。

② GPA について

2009年度以降のカリキュラム適用学生については、成績通知書に「GPA」の数値を表示しています。GPA(Grade Point Average)とは、学生の履修登録科目の1単位あたりの評点平均値を指します。これは、欧米で広く用いられている世界標準的な成績評価方法で、本学では各種奨学金や学位授与式の総代選出等の際に活用されています。

履修した科目には、A、B、C、XX等の成績が与えられますが、これらの評価を数値化して1単位ごとの平均を算出したものがGPAとなります。

本学の各評価に与えられる評点は次のとおりです。

本学評価	評点
AA	4.0
A	3.0
B	2.0
C	1.0
XX	0.0
X	0.0

$$GPA = \frac{(AA \text{ の単位数} \times 4 + A \text{ の単位数} \times 3 + B \text{ の単位数} \times 2 + C \text{ の単位数} \times 1)}{(AA \text{ の単位数} + A \text{ の単位数} + B \text{ の単位数} + C \text{ の単位数} + XX \text{ の単位数} + X \text{ の単位数})}$$

※「認定」・「合格」・「W」(履修取消)の科目はGPA算出の対象外。

③成績通知

学生への成績通知は、9月上旬および3月上旬に行います。「学生ポータル」の他のメニューとは異なり、自宅のパソコンから見る場合は別途設定が必要です。詳細は、「学生ポータル」サイトの「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。「成績通知書」は各自で印刷し、修得した科目を確認してください。

④成績調査について

成績調査は講義内容の成績評価方法に照らして、実際の評価に疑問を持つ場合に申立てができる制度です。これは科目担当者に対して、安易に評価の再考・変更を求めるものではありません。講義内容の成績評価方法を挙げ、客観的かつ具体的に疑問点を述べられる場合にのみ申請をしてください。

大学が指定する調査期間中に、申請者本人が申し出てください。調査期間および申請方法は「学生ポータル」でお知らせします。

電話での問い合わせ、期間外の申し出には一切応じません。

6. 博士課程研究発表会について

学生相互の研究、研鑽の場として年2回(前期、後期各1回)「博士課程研究発表会」を実施しています。

- ① 博士課程の学生は、原則として、半期ごとに開催される博士課程研究発表会において、半年間の研究経過の報告をします。
- ② 博士課程の学生は、原則として、公開指導委員会(研究計画評価、中間報告)の審査を受験する前に、最低1回は博士課程研究発表会での報告をすることとします。但し、学生の都合により博士課程研究発表会に参加できない場合は、研究指導担当教員(主査)から研究科長宛に文書で事情を申し入れ、博士課程委員会の承認を得た場合のみ、公開指導委員会の審査を受験できるものとします。
- ③ 博士課程研究発表会は、学生相互の勉強会ですが、主査のみならず、副査にも事前に研究発表内容について指導を受けてください。

7. 研究指導計画

研究指導教員は、以下の指導計画に基づき、研究指導を行います。

- ① 学生が設定する研究主題および研究計画に対して適切な指導を行う。
- ② 博士論文の作成過程において、専門知識や分析方法に関する指導を行う。
- ③ 学会、各種研究会への参加機会を提供し、研究成果の発表を奨励する。
- ④ 博士課程研究発表会で講評を行う。
- ⑤ 学位授与の各プロセス(進級資格試験、研究計画評価、中間報告審査、最終報告、博士論文最終審査)で審査を行う。

学位授与のプロセスには、「進級資格試験」「研究計画評価」「中間報告審査」があり、それぞれ順に合格した後、「最終報告」を経て、学位申請論文を提出する手続きに入ります。

第1年次		第2年次		第3年次		第4年次		第5年次	
前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期

▲ ▲ ▲ ▲
「進級資格試験」「研究計画評価」「中間報告審査」「最終報告」

- ① 学生は2年次後期に「進級資格試験」を受験し、「進級資格試験」に合格しなければ3年次に進級できず、「研究指導」は履修できません。
- ② 学生は「研究計画評価」を受験し合格しなければ「中間報告審査」を受験できません。
- ③ 「中間報告審査」を受験し合格しなければ「最終報告」ができません。
- ④ 「進級資格試験」「研究計画評価」および「中間報告審査」は、公開指導委員会にて行います。いずれも受験回数は2回までとし、審査は5月、7月、10月、12月、2月に実施予定です。

- ⑤ 学生は、原則として、半期ごとに開催される「博士課程研究発表会」において、研究内容について発表します。博士課程研究発表会で発表しなければ、公開指導委員会の審査(研究計画評価、中間報告)を受けることができません。(前出 6.博士課程研究発表会についてを参照)
- ⑥ 9月修了について:前年度の10月に最終報告を実施したが、最終試験の受験には至らなかった場合、翌年度前期に最終試験を受験し、9月修了をすることもできます。(専門職大学院教務課に相談してください)

国際マネジメント研究科博士課程(5年一貫制3年次編入 D.B.A.コース)修了までのプロセス

	入学	公開指導委員会		公開指導委員会	研究発表会		公開指導委員会		公開指導委員会	研究発表会	公開指導委員会	
2026年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		公開指導委員会		公開指導委員会	研究発表会	公開指導委員会			公開指導委員会	研究発表会	公開指導委員会	
2027年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		公開指導委員会	4年目以降在学者 博士学位申請論文提出	公開指導委員会	研究発表会	公開指導委員会	最終報告	博士学位申請論文提出	公開指導委員会	研究発表会	公開指導委員会	博士学位授与
2028年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

公開指導委員会 博士論文研究計画評価(受験機会2回)
博士論文中間報告審査(受験機会2回)

博士論文最終報告(10月)

◇ 在学年数標準3年、6年を超えて在学することはできない。

8. 学位申請論文提出までの諸注意

1) 「進路申請書」「進級資格試験」(Ph.D.プログラム対象)

Ph.D.プログラムの学生は、2年次に「進路申請書」を専門職大学院教務課に提出し、3年次に進学するか、2年次で修士の学位を修得して退学するかを選択します。3年次に進学する場合は、後期に実施する、「進級資格試験」を受験し、合格する必要があります。

進路申請書提出:10月

進級資格試験実施時期:12月 タームペーパー(「研究演習」の成果)および「研究計画書」(D.B.A.受験時提出物に相当する)の発表による口述試問を実施します。

「研究演習」指導教員を含む3名の教員により評価を行います。

2) 研究倫理教育の受講について

本学大学院に所属する学生には、研究倫理教育の受講を義務としています。各自で対象のeラーニングを受講、修了し、定められた期間内に各研究科の事務窓口に修了証を提出してください。修了証は入学年度以降に取得したものが有効となります。提出期限等の詳細については、年度初頭のガイダンスなどで告知いたします。修了証が未提出であると、論文(特定の課題についての研究の成果含む)の受理をしないことや、学位記を交付しない等の措置が行われる場合がありますので注意してください。

◆公正研究推進協会 APRIN eラーニングプログラム

詳細は公正研究推進協会のホームページにて確認してください。

3) 「研究計画評価」(公開指導委員会)

実施時期:5月、7月、10月、12月、2月の年5回(詳細日程別紙。申請により実施)

試験方法:研究計画書審査および口述試問

提出書類:博士論文研究概要報告書・研究計画書(A4(1,200字)×10枚程度、目次を付ける)

※提出部数:6部(うち1部はホチキス留めなし)

報告内容(参考)①研究内容の説明 ②情報収集および処理の方法 ③研究日程 ④文献リスト、他
※研究計画評価を受験できる回数は2回までとします。

※入学後2年以内に「研究計画評価」に合格しない場合は、博士課程委員会より退学の勧告がなされます。

《 研究計画評価 プレゼンテーション・ガイドライン 》

研究計画のプレゼンテーションは、以下のポイントが明確になるように行ってください。
これら基準に沿って、評価を行います。

1. 主題
2. リサーチクエスチョン
3. 意義(実務的・学術的)
 - ・上のリサーチクエスチョンに答えることが、関連する実務分野で、どのような知見をもたらすと期待されるのか?
 - ・関連する学術研究領域では、何が明らかにされており、何が明らかではないか?
この研究はそれら領域に、何を新しく加えると期待されるのか?
4. 方法
 - ・研究の方法を、現時点での案として、なるべく具体的に示してください。
 - ・定量的分析を主な方法とする場合には、想定しているモデルや変数、データソースについて説明してください。
 - ・定性的分析を主な方法とする場合には、依拠する情報の性格や収集方法、分析の進め方について説明してください。
 - ・理論(モデル)構築を主な方法とする場合は、構築の考え方について、説明してください。
5. 構成
 - ・学位論文の構成(章立て)案

4) 「中間報告審査」(公開指導委員会)

実施時期:5月、7月、10月、12月、2月の年5回(詳細日程別紙。申請により実施)

審査方法:研究報告審査および口述試問

提出書類:博士論文研究概要報告書・博士論文中間報告要旨(目次を付ける)

※提出部数:6部(うち1部はホチキス留めなし)

※中間報告審査を受験できる回数は2回までとします。

《 博士課程中間報告 審査基準 》

1. 査読論文が外部の学術誌に投稿済みである(採択済みであることが望ましい)。
*D.B.A.プログラム修了要件(入学年度により異なります。P.6でご確認ください)
2. 博士論文の中心となる分析が、学位授与の審査対象としてふさわしい水準でなされており、具体的な結果が得られている。
3. 残りの分析の進め方(方法、データなど)が明確になっている。
4. 全体として、博士論文完成の目途が立っているものと評価できる。

5) 「最終報告」(5年次)

博士学位申請論文の提出準備のできた者は「博士論文最終報告」の公聴を行います。但し、最終報告を実施する前までに、研究倫理教育(16 ページ 2)研究倫理教育の受講について 参照)の修了、および学位申請論文以外の課程修了要件を満たしていることが必要です。

実施時期:10月実施

報告方法:口頭で報告を行い、教員より講評を受け博士論文作成に入る。(再報告を求められることもあります。)

※提出書類等の詳細については、専門職大学院教務課にお問い合わせください。

※論文草稿は9月中に完成させ、最終報告実施前までに、主査・副査、その他の教員の指導を受けた後、最終報告に臨んでください。

※最終報告の回数は2回までとします。

※学位申請論文以外の課程修了要件を全て満たした者で最長在学年限内に退学したものが博士学位申請論文を提出するために再入学し、博士の学位を申請する場合、その申請は、入学時から起算した当該年限内に博士学位申請論文の審査を終えるよう、行わなければならない。

(大学院学位規則第8条3項)

6) 「博士論文最終審査」

博士論文最終報告をし、講評を受けた者は、博士学位申請論文を提出することができます。論文の受理が決定すると、最終審査として、論文の審査および最終試験(口述試問)が行われます。

博士学位申請論文最終提出期限:11月18日(水)

7) 学位論文審査基準

- ①研究テーマの設定が明確かつ適切であり、研究の意義が明確に述べられていること
- ②研究テーマに関する先行論文について十分な調査と検討が行われていること
- ③研究の方法が、研究の目的を達成するために適切であること
- ④問題提起から結論を導くまでの過程の論理展開に一貫性と妥当性があること
- ⑤論文の構成がきちんとしており、引用や注釈、図表等を含めて論文としての体裁が整っていること
- ⑥新たな知見を打ち出しており、研究の発展に寄与する学術的価値のある論文になっていること

8) 学位申請論文の提出について

博士論文最終報告終了後、博士学位申請論文の修正が終了し、主査・副査の確認がとれた後に、正式に学位申請論文およびその他の必要書類を、次の通り提出してください。入学年度によ

って、提出物が異なります。詳細は専門職大学院教務課にお問い合わせください。

【Ph.D.プログラム】

- ①学位申請論文 10部 ②論文要旨 10部 ③学位申請書 ④履歴書
- ⑤1外国語認定資料(下記のいずれかによる)
 - ・国際会議での研究発表: 発表した際の資料一式(日時・場所・発表者名が記載されたもの。)
 - ・外国学術査読雑誌(査読論文)への発表: 論文掲載された学術雑誌1冊
 - ・TOEIC860点以上の得点: TOEICスコアシート
- ⑥査読論文もしくは、これに相当するものを1本以上の発表: 論文掲載された学会誌等1冊

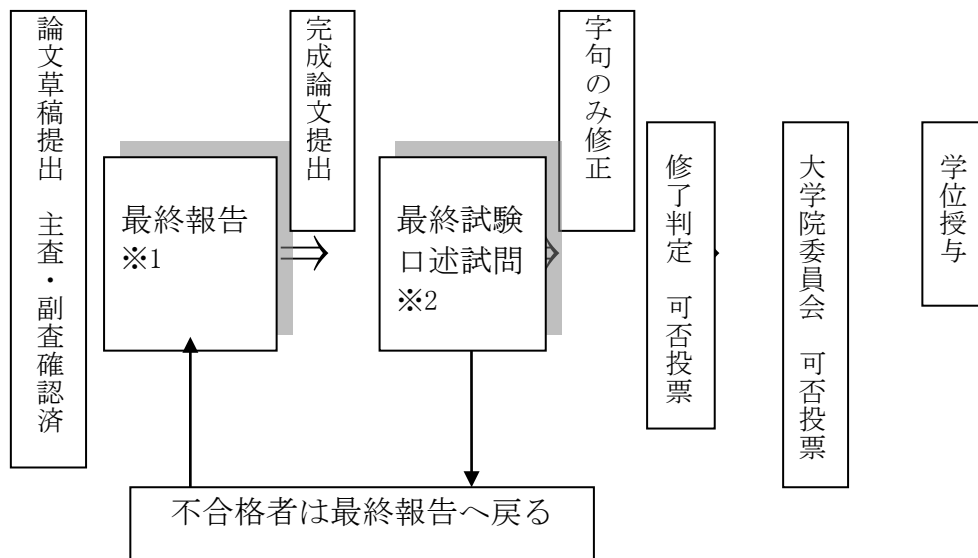
M.A.: Ph.D.プログラムに2年以上在籍し、修士学位を取得し、退学する場合

- ①修士学位申請論文3部 ②論文要旨3部 ③学位申請書 ④TOEICスコア(730点以上)

【D.B.A.プログラム】

- ①学位申請論文 11部 ②論文要旨 11部 ③学位申請書 ④履歴書
- ※外国語認定資料、査読論文もしくは、これに相当するものを1本以上の発表については最終報告申込時に提出。

9) 博士学位申請論文提出フローチャート



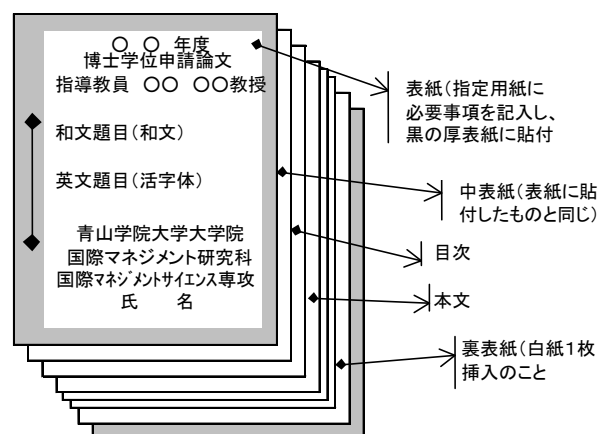
※1 最終報告の回数は2回までとする。

※2 最終試験で不合格となった場合は、最終報告からやり直すこととする。

10) 論文および論文要旨の様式

論文					論文要旨	
部数	用紙・枚数	書式	目次	参考文献	部数	枚数 (A4判)
	400字詰原稿用紙(A4判) 又は タイプ用紙(A4判)					
11部	枚数:自由	自由	記載	記載	11部	自由

- ① 欧文を使用する場合は、タイプライター又はワープロを使用してください。和文の場合はワープロの使用が望ましい
- ② 表紙の様式表紙は、黒の厚表紙(購買会において販売)に貼付して提出してください。右記見本を参照。
- ③ 論文要旨の様式は、論文に準じます。論文要旨の表紙には、「論文要旨」と明記してください。



11) 博士論文のインターネットの利用による公表について

博士学位申請論文については、学位規則にある博士学位申請論文に関する条文(第7条以降)を熟読してください。なお、学位規則の一部を改正する省令(平成25年文部科学省令第5号)により、教育研究成果の電子化およびオープンアクセス化の推進の観点から、博士の学位を授与された者は、当該学位論文をインターネットの利用により公表することとなり、公表にあたっては、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の協力を得て行うものに変更されました。

この変更に伴い本学にインターネット公表を依頼する場合は、博士学位申請論文提出時に「博士学位論文の青山学院大学機関リポジトリへの登録依頼書」を提出して頂く必要があります。また、インターネット利用による全文公表ができない「やむを得ない事由」がある場合は、「博士学位論文のインターネット利用による全文公表に代わる要約公表に関する申請書」および当該学位論文の概要として結論に至るまでの内容を要約したもの(学位論文の要約)を学位論文に添付して提出する必要があります。

※インターネット公表に際しては当該学位論文の全文または要約のPDFを提出する必要があります。

博士学位論文の青山学院大学機関リポジトリへの登録依頼書

博士学位論文の青山学院大学機関リポジトリへの登録依頼書

20 年 月 日

青山学院大学学長

私が執筆しました下記の博士学位（申請）論文について、以下のとおり申請し、「青山学院大学機関リポジトリ」への登録を依頼してインターネットにより公表することに合意します。
なお、当該博士学位論文（全文または要約）をインターネットにより公表することによって、申請者の他に帰属する著作権等の権利を侵害することはありません。

氏名		
研究科	研究科	学生番号（論文博士は記入不要）
学位授与予定日	20 年 月 日	
※種別	<input type="checkbox"/> 課程博士 <input type="checkbox"/> 論文博士	
※論文題目		
※全文公表・要約公表の別	<input type="checkbox"/> 全文公表 <input type="checkbox"/> 要約公表 <small>（注1）学位授与日から1年以内に全文の公表がやむを得ない事由（著作権保護、個人情報保護、出版刊行、特許の申請等）により不可能である場合は、博士論文の内容を要約したものを作成し、これをインターネットにより公表する必要があります。1年後でも全文の公表が困難であると見込まれる場合は、要約公表を選択してください。 <small>（注2）やむを得ない事由があるために要約公表を選択した場合は、別紙の所定の申請書を提出し、当該研究科において要約公表の承認を得る必要があります。</small> </small>	
公表開始可能日	<input type="checkbox"/> 学位授与後即時公表可 <input type="checkbox"/> 20 年 月 日から公表可 ←学位授与日から1年以内	

◎ 連絡先（電話番号を必ず記入してください）
電話番号： _____

◎ 注意事項
※印の項目については、インターネット公表の際、当該論文に関する情報として併せて公表されます。

◎ 提出先：所属する研究科の担当窓口
学務部教務課（青山キャンパス 17 号館 2 階学生センター内）
相模原学務部学務課（相模原キャンパス B 棟 1 階学生センター内）
学務部専門職大学院教務課（青山キャンパス 17 号館 2 階学生センター内）

博士学位論文のインターネット利用による全文公表に代わる要約公表に関する申請書

博士学位論文のインターネット利用による全文公表に代わる要約公表に関する申請書

20 年 月 日

青山学院大学 研究科長

私が執筆しました下記の博士学位（申請）論文について、下記の理由により、インターネット利用による全文の公表に代えてその内容を要約したものを公表することの承認をお願いいたします。

氏名		
研究科	研究科	学生番号（論文博士は記入不要）
学位授与（予定）日	20 年 月 日	
種別	<input type="checkbox"/> 課程博士 <input type="checkbox"/> 論文博士	
論文題目		

【理由】（複数選択可）

①立体形状による表現を含んでいる。
 ②著作権や個人情報等に係る制約がある。
 ③出版刊行（学術ジャーナルへの掲載も含む）をした。またはその予定がある。
※この場合、〔 〕内に以下の項目の詳細を記入してください。
 書籍の場合：題名、著者、出版社、出版年等
 学術誌掲載論文の場合：論文題目、著者、雑誌名、巻、出版年、頁、URL 等

④特許申請している情報または特許申請を予定している情報が含まれている。
 ⑤その他、特にインターネット公表ができない内容を含むことまたはインターネット公表により生じる不利益がある。 ※この場合、〔 〕内に具体的に記入してください。

【要約公表とする期間（＝全文公表に切り替えるまでの期間）】

20 年 月 日まで
 未定 無期限
※「未定」または「無期限」の場合、〔 〕内にその理由を具体的に記入してください。

理由： _____

(表面)

◎ 連絡先（電話番号を必ず記入してください）
電話番号： _____

◎ 指導教員確認欄
指導教員名（論文博士は主査名）

◎ 注意事項
本紙は、指導教員（論文博士は主査）と相談の上、作成し、指導教員確認欄に署名をもらってください。

◎ 提出先
所属する研究科の担当窓口
学務部教務課（青山キャンパス 17 号館 2 階学生センター内）
相模原学務部学務課（相模原キャンパス B 棟 1 階学生センター内）
学務部専門職大学院教務課（青山キャンパス 17 号館 2 階）

（署名と入印）

20 年 月 日

研究科長名 _____

上記理由について「やむを得ない事由」と認める。
 上記理由について「やむを得ない事由」と認めない。

(裏面)

6. カリキュラムと担当者
2022～2026年度入学生用

方法論研究科目(000)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
001	統計的方法論 I		—	2	—	—	本年度休講
002	統計的方法論 II		後期後半	2	博士	森田 充	
003	研究方法論		後期後半	2	博士	細田 高道	
004	マネジメント特論		—	2	—	—	本年度休講
005	ファイナンス特論		—	2	—	—	本年度休講
006	マーケティング特論		前期後半	2	博士	黒岩 健一郎	

基礎研究科目(100)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
101	ビジネス倫理		前期	2	DAY EVE	島田 由紀 島田 由紀	
102	組織行動とリーダーシップ		前期	2	DAY EVE	須田 敏子 須田 敏子	
103	経営戦略		後期	2	DAY EVE	廣瀬 雄大 澤田 直宏	
104	ファイナンス		前期	2	DAY EVE	伊藤 晴祥 中里 宗敬	
105	マーケティング		前期	2	DAY EVE	西井 真祐子 黒岩 健一郎	
106	アカウンティング		前期	2	DAY EVE	宮田 富美代 市野 初芳	
107	オペレーションズ・マネジメント		後期	2	DAY EVE	中塚 昭宏 細田 高道	
108	企業経営の経済学		前期	2	DAY EVE	福井 義高 北野 泰樹	
109	統計分析 I		前期	2	DAY EVE	北野 泰樹 森田 充	

基礎研究科目(200)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
201	ビジネス倫理とリーダーシップ		—	2	—	—	本年度休講
202	ビジネス・フィロソフィー		後期後半	2	共通	島田 由紀	
203	文化と宗教から見るビジネスと倫理		後期前半	2	共通	島田 由紀	
204	異文化マネジメントとリーダーシップ		前期前半	2	共通	清水 絹代	
205	キャリアとリーダーシップ		前期前半 後期前半	2	DAY EVE	永石 尚子 須田 敏子	
206	ソーシャル・アントレプレナーシップ		後期前半	2	共通	熊平 美香 小林 敦	
207	デザイン・シンキング		前期前半	2	共通	吉橋 昭夫	
208	ビジネスへの演劇アプローチ		後期後半	2	共通	広瀬 彩 須田 真魚	
209	プレゼンテーション・スキル		後期前半	2	共通	清水 絹代	
210	ビジネス・ゲーム基礎		後期前半	2	共通	岩井 千明	
211	マクロ経済データ分析		前期後半	2	共通	福井 義高	2025年度以前入学者用
212	マクロ経済分析		前期後半	2	共通	福井 義高	2026年度入学者用
213	統計分析 II		後期後半	2	DAY EVE 共通	森田 充 森田 充 森田 充	
214	リスク・マネジメントとコンプライアンス		前期後半	2	共通	小林 敦	
215	ゲーム理論とマネジメント		後期前半	2	DAY EVE	北野 泰樹 北野 泰樹	
216	パーパス経営		前期前半	2	共通	熊平 美香	
—	マクロ経済学		—	2	—	—	2026年度より閉講

英語コミュニケーション科目 (250)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
251	グローバルコミュニケーション(入門)	●	前期前半	2	DAY	廣瀬 雄大	
			後期前半		EVE	廣瀬 雄大	
252	グローバルコミュニケーション(中級)	●	後期前半	2	共通	NICHOLS, David	
253	グローバルコミュニケーション(上級)	●	後期後半	2	共通	NICHOLS, David	
254	英語プレゼンテーション入門	●	後期後半	2	共通	清水 絹代	
255	国際経営とリーダーシップ	●	前期後半	2	共通	清水 絹代	
256	国際営業と交渉術	●	後期前半	2	共通	大澤 裕	
257	国際ビジネスコミュニケーション基礎	●	前期後半	2	共通	関 秀敏	新設科目
			後期後半				
258	コーポレートガバナンスとエシックス	●	後期後半	2	共通	NICHOLS, David	新設科目
259	組織マネジメントとリーダーシップ	●	前期後半	2	DAY	NICHOLS, David	
			前期前半		EVE	NICHOLS, David	
260	プロジェクトマネジメントとリーダーシップ	●	後期後半	2	共通	KHATRI, S. L.	
261	複雑性下のリーダーシップ	●	後期前半	2	共通	MAYES, Thomas O.	
262	意思決定の経済学	●	後期前半	2	DAY	NICHOLS, David	
			前期前半		EVE	NICHOLS, David	
263	国際マネジメントエッセンシャルズ	●	前期集中	2	共通	伊藤 晴祥	

S&O 300 (Strategy and Organization 300)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
301	グローバル・マネジメント		後期後半	2	DAY	中野 勉	
					EVE	中野 勉	
302	計量経済学とマネジメント		後期前半	2	DAY	北野 泰樹	
					EVE	北野 泰樹	
303	競争戦略		前期前半	2	DAY	澤田 直宏	
					EVE	澤田 直宏	
304	企業戦略		前期前半	2	DAY	中野 勉	
					EVE	中野 勉	
305	アントレプレナーシップ		後期後半	2	共通	廣瀬 雄大	
306	人材マネジメント		後期後半	2	DAY	平本 奈央子	
			後期前半			EVE	
307	人的資本経営		後期後半	2	共通	須田 敏子	
308	組織論とマネジメントのダイナミクス		後期後半	2	DAY	中野 勉	
					EVE	中野 勉	
309	組織デザイン		前期前半	2	DAY	澤田 直宏	
					EVE	澤田 直宏	
310	戦略ロードマッピング		前期前半	2	DAY	廣瀬 雄大	
					EVE	廣瀬 雄大	
311	マネジメント(上級)		—	2	—	—	本年度休講

MKT 300 (Marketing 300)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
301	消費者購買行動		後期前半	2	DAY	西井 真祐子	
					EVE	西井 真祐子	
302	マーケティング・リサーチ		後期前半	2	DAY	西井 真祐子	
					EVE	西井 真祐子	
303	ブランド戦略	●	後期前半	2	共通	松浦 良高	
304	価格戦略		—	2	—	—	本年度休講
305	流通システム戦略		後期前半	2	共通	水野 学	新設科目
306	マーケティング・コミュニケーション		後期前半	2	共通	赤井 俊一	
307	CRM戦略		—	2	—	—	本年度休講
308	マーケティング意思決定モデル		—	2	—	—	本年度休講
309	地域活性化のマーケティング		後期後半	2	共通	小谷 恵子	
310	デジタル・マーケティング		後期前半	2	共通	進藤 美希	
311	戦略的マーケティング		後期後半	2	DAY	黒岩 健一郎	
					EVE	黒岩 健一郎	
312	セールス・マーケティング		—	2	—	—	本年度休講
313	サービス・マーケティング		後期前半	2	DAY	黒岩 健一郎	
					EVE	黒岩 健一郎	
314	マーケティング戦略		前期前半	2	DAY	西井 真祐子	
					EVE	黒岩 健一郎	
315	マーケティング(上級)		—	2	—	—	履修不可科目
—	ファッション・リテリング		—	2	—	—	2026年度より閉講
—	地域活性化のプランニング		—	2	—	—	2026年度より閉講

F&A 300 (Finance and Accounting 300)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
301	コーポレート・ファイナンス		後期前半	2	共通	伊藤 晴祥	
302	コーポレート・ガバナンス		前期前半	2	共通	伊藤 晴祥 林 順一	
303	サステナブル・ファイナンス	●	後期前半	2	共通	伊藤 晴祥	
304	国際ファイナンス		—	2	—	—	本年度休講
305	インベストメント		前期後半	2	DAY	森田 充	
					EVE	北村 智紀	
306	証券データ分析		後期前半	2	共通	中里 宗敬	
307	財務会計		前期前半	2	DAY	福井 義高	
					EVE	福井 義高	
308	管理会計		—	2	—	—	本年度休講
309	タックス・プランニング		—	2	—	—	本年度休講
310	財務諸表論		後期前半	2	共通	市野 初芳	
			前期前半		EVE	市野 初芳	
			後期後半		EVE	市野 初芳	
311	FAST		—	2	—	—	本年度休講
312	リアルオプションと経営戦略		—	2	—	—	本年度休講
313	マネジメントコントロール		—	2	—	—	本年度休講
314	ファイナンス(上級)		—	2	—	—	履修不可科目

OIS 300 (Operations and Information Systems 300)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
301	オペレーション戦略		前期後半	2	共通	細田 高道	
302	サプライチェーン・モデリング		前期後半	2	DAY	中塚 昭宏	
			前期前半		EVE	中塚 昭宏	
303	オペレーションズ・マネジメント・リーダーシップ		前期後半	2	共通	細田 高道	
304	ビジネスデータ分析		前期後半	2	DAY	岩井 千明	
					EVE	岩井 千明	
305	プロジェクト・マネジメント		前期前半	2	共通	伊藤 大輔	
306	オペレーションズ・リサーチ		前期前半	2	DAY	中塚 昭宏	
					EVE	中塚 昭宏	
307	経済性分析		前期後半	2	DAY	中塚 昭宏	
					EVE	中塚 昭宏	
308	サプライチェーン・マネジメントの理論と実践		前期前半	2	共通	丹治 秀明	
						小林 知行	
						山本 圭一	
309	経営戦略とオペレーションズマネジメント		前期後半	2	共通	藤野 直明	
						梶野 真弘	
						藤浪 啓	
310	企業経営とIT戦略		前期前半	2	共通	関 秀敏	新設科目
311	AIと経営戦略		後期前半	2	共通	関 秀敏	新設科目
—	ITと経営戦略		—	2	—	—	2026年度より閉講
—	インターネット・ビジネス		—	2	—	—	2026年度より閉講

演習科目(300)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
301	国際マネジメント演習 I		前期前半	2	DAY	熊平 美香	
					市野 初芳		
					EVE	熊平 美香	
					共通	岩井 千明	
			前期後半	2	EVE	市野 初芳	
					共通	中野 勉	
						森田 充	
			後期前半	2	DAY	澤田 直宏	
					中塚 昭宏		
					EVE	島田 由紀	
					共通	澤田 直宏	
			後期後半	2	DAY	黒岩 健一郎	
島田 由紀							
北野 泰樹							
EVE	黒岩 健一郎						
	中塚 昭宏						
	北野 泰樹						
共通	細田 高道						
	西井 真祐子						
302	国際マネジメント演習 II		後期前半	2	EVE	市野 初芳	
					後期後半	DAY	
			EVE			熊平 美香	
			共通		熊平 美香		
共通	関 秀敏						
	中野 勉						

共通専門科目(350)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
351	統計的分析論Ⅰ		—	2	—	—	履修不可科目
352	統計的分析論Ⅱ		—	2	—	—	履修不可科目
353	リサーチ・メソッド		—	2	—	—	履修不可科目
354	医療経済学		前期後半	2	共通	稲垣 中	
355	エンタテインメント・ビジネス		後期前半	2	共通	森川 美幸	
356	ビジネスイノベーション		後期前半	2	共通	佐渡 誠	新設科目 寄附講座(KPMGコンサル テイング(株))
357	イノベーションと組織文化		前期前半	2	共通	相田 哲也 松本 肇子 古屋 美佐子	新設科目 寄附講座(アマゾンウェブサー ビスジャパン(同))
358	次世代デジタルイノベーションⅠ		前期前半	2	共通	名川 知志 小林 信三 羽間 裕貴	寄附講座(一般社団法人 グリーンカラー・プラネット)
359	次世代デジタルイノベーションⅡ		前期後半	2	共通	名川 知志 小林 信三 羽間 裕貴	寄附講座(一般社団法人 グリーンカラー・プラネット)
360	パブリックリレーションズⅠ		後期前半	2	共通	黒田 明彦	新設科目 寄附講座(電通PRコンサル テイング)
361	パブリックリレーションズⅡ		後期後半	2	共通	黒田 明彦	新設科目 寄附講座(電通PRコンサル テイング)
362	コーポレート・コミュニケーション		後期後半	2	共通	小方 信幸	寄附講座(ジェイ・ユース・ア イ・アール(株))
363	知的資産型経営		後期前半	2	DAY	強瀬 理一	寄附講座(東京きらぼし フィナンシャルグループ)
364	イノベーションとアート		後期後半	2	共通	長谷川 一英	寄附講座(株)リンクアンドモチ ベーション)
365	DXと組織・人材戦略		後期前半	2	共通	高柳 圭介	寄附講座(EY Japan)
366	観光業とグローバリゼーション		—	2	—	—	寄附講座(青山学院校友会 青山トラベル・ソサエティ) 本年度休講
367	コーチングとリーダーシップ		後期前半	2	共通	橋場 剛	寄附講座(ビジネスコーチ(株))
368	スポーツ・アウトドア・ブランド論		後期後半	2	共通	水野 義和 稲村 淳	新設科目 寄附講座(株)コートウイン)
369	海外研修セミナーⅠ	●	前期集中	2	共通	廣瀬 雄大 金 佳榮	10ページ参照
370	海外研修セミナーⅡ	●	夏休集中	2	共通	市野 初芳 金 佳榮	10ページ参照
371	海外研修セミナーⅢ	●	春休集中	2	共通	(未定)	10ページ参照
372	海外研修セミナーⅣ	●	春休集中	2	共通	(未定)	10ページ参照
373	国際マネジメント・セミナーⅠ	●	前期後半	2	共通	細田 高道	10ページ参照
374	国際マネジメント・セミナーⅡ	●	後期後半	2	共通	岩井 千明	10ページ参照
375	国際マネジメント・セミナーⅢ	●	不定集中	2	共通	(未定)	10ページ参照
376	国際マネジメント・セミナーⅣ	●	不定集中	2	共通	(未定)	10ページ参照
—	地方創生実践論－神山プロジェクト		—	2	—	—	2026年度より閉講
—	パブリックリレーションズ		—	2	—	—	2026年度より休講
—	サステナブル・コーポレート・マーケティング		—	2	—	—	2026年度より閉講
—	ウェルスマネジメント		—	2	—	—	2026年度より閉講

他研究科科目(400)

他研究科において国際マネジメント研究科学生に対して履修可能としている科目は400番台科目として見なされる。
詳細は「3. 履修について 6) 他研究科科目について」を参照。

協定大学院科目(450)

協定大学院において本学国際マネジメント研究科学生に対して履修可能としている科目は450番台科目として見なされる。
詳細は「3. 履修について 7) 協定大学院科目について」を参照。

※2026年度開講なし。

青山アクション・ラーニング科目(Aoyama Action Learning 500)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
501	マネジメント・ゲーム		前期	8	共通	岩井 千明 福井 一枝	
502	アドバンスト・コーポレート・コミュニケーション		前期	4	共通	伊藤 晴祥 岩田 宜子 小方 信幸	寄附講座(ジェイ・ユース・アイ・アール株)
503	企業分析とファンド・マネジメント・シミュレーション I		前期	4	共通	森田 充 吉野 貴晶	
504	企業分析とファンド・マネジメント・シミュレーション II		後期	4	共通	森田 充 吉野 貴晶	
505	ビジネス・プランニング		前期	4	共通	中野 勉	
506	マーケティング・プランニング・プロジェクト		前期	4	共通	西井 真祐子	
507	ソーシャル・イノベーション		前期	4	共通	熊平 美香 小林 敦	
508	グローバルアントレプレナーシップ		後期	4	共通	廣瀬 雄大	
—	SDGsコミュニティ・マーケティング		—	4	—	—	2026年度より閉講

研究演習科目(600)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
601	研究演習 I		—	2	—	—	本年度休講
602	研究演習 II		—	2	—	—	本年度休講
603	研究演習 III		—	2	—	—	本年度休講

研究指導科目(700)

	授業科目名	英語科目	学期	単位	配置	授業担当者	備考
701	研究指導 I		—	2	—	—	本年度休講
702	研究指導 II		—	2	—	—	本年度休講
703	研究指導 III		前期	2	DBA	森田 充	
704	研究指導 IV		後期	2	DBA	森田 充	
705	研究指導 V		前期	2	DBA	伊藤 晴祥	
706	研究指導 VI		前期	2	DBA	伊藤 晴祥	
			後期		DBA	伊藤 晴祥	

10. 学籍等について

1) 修業年限(在学期間)

修業年限は一貫制博士課程にあつては標準5年、3年次編入者は標準3年とします。
課程を修了するために在学できる年限は一貫制博士課程8年、3年次編入者は6年とします。

2) 休学

病気、その他やむを得ない事情で休学する場合は、事由発生後おそくとも1カ月以内に所定の「休学願」(保護者等の連署・押印が必要)を専門職大学院教務課へ提出してください。病気による休学の場合は診断書を必ず添付してください(事前に専門職大学院教務課に申し出て相談してください)。

休学は、学年を原級(元の学年)にとどめるので、通年または半期休学をした場合、進級することはできません。

(1) 休学期間

休学は通年休学(1年間・4月1日～翌年3月31日)、前期休学(前期・4月1日～9月30日)、後期休学(後期・10月1日～翌年3月31日)の3種類があり、1年または1学期ごとに更新しなければなりません。なお、休学期間は連続2年までとします。ただし、特にやむを得ない場合に限り、連続3年まで認めることがあります。通算して3年を超えることはできません。また、休学期間は、修業年限に算入されません。

(2) 休学願

①「休学願」提出期限は次のとおりとします。

1学年間または前期の「休学願」……6月末日まで

後期の「休学願」……12月末日まで

②提出期限以降の「休学願」は、原則として受け付けません。

③所定期間内の休学の取り消しは審査のうえ認める場合もあります。

(3) 休学者の学費

①通年休学の場合………在籍基本料の前期分および後期分

②前期のみ休学の場合………在籍基本料の前期分

③後期のみ休学の場合………在籍基本料の後期分

なお、休学中である者は、諸会費の納入を要しない。

※詳細は、学生生活部学費・奨学金課に個別にお問い合わせください。

3) 復学

休学期間終了後復学し、再び学業を継続する場合は、所定の「復学願」(保護者等の連署・押印が必要)を、おそくとも下記の期日までに専門職大学院教務課へ提出し、教授会の承認を経なければなりません。なお、復学が承認された場合の年次は、休学の種類にかかわらず、休学前と同一年次となります。

・2026年度後期復学希望の場合……2026年8月29日(金)までに提出

・2027年度前期復学希望の場合……2027年2月21日(土)までに提出

※病気による休学であった場合は、必ず診断書も添付してください。

4) 退学

病気その他やむを得ない事情で退学しなければならない場合は、所定の「退学願」(保護者等の連署が必要)に、学生証を添えて、専門職大学院教務課へ提出してください。この場合、退学期日を含む学期までの学費を完納しておかなければなりません(事前に専門職大学院教務課に相談のこと)。

在学期間満了による退学の場合も、必ず上記の「退学願」を提出してください。

退学期日は、前期分の学費を納付している場合は、9月30日付、後期分までの学費を納付している場合は、3月31日付とします。

5)再入学

退学した後に再入学を願い出た場合、事情を審査のうえ以下のように相当年次に再入学を許可することがあります。

※在学期間満了による退学の場合は、再入学の資格はありません。

●研究指導等が必要な再入学(学費発生)

博士後期課程に3年以上在学し研究科・専攻の定めるプロセス(中間報告等)を経ずに退学し、再入学を希望する場合、通常の再入学の扱いとなります(大学院学則に定められている学費等の納付が必要)。

再入学の願い出ができる期間は、原則として退学した日から2年以内(ただし、特別の事由がある場合のみ、各研究科において最長5年以内とする)、再入学できる時期は学年の初め(学期制の研究科においては、学期の初め)とします。また、再入学願の提出期間は、原則として各学期の開始2か月前とします。

なお、在学できる年限は、博士後期課程入学時(再入学時ではない)より休学期間および再入学までの離籍期間を除き6年以内です。

---参考①---

大学院の休学願提出期限および再入学に関する取扱い要綱

第3条 再入学の願い出ができる期間は、原則として退学した日から2年以内とする。ただし、特別の事由がある場合のみ、各研究科において、別に定めることができる。願い出期間に関しては最長5年以内とする。

3 再入学できる時期は、学年の初めとする。ただし、学期制の研究科においては、学期の初めとすることができる。

4 再入学願提出期間は、原則として以下の通りとする。

前期再入学:前年度1月末まで

後期再入学:当年度の7月末まで

---参考②---

●論文提出のみの再入学

博士後期課程に3年以上在学し修了要件のうち博士学位申請論文の提出を残すのみとなった場合、一旦退学願を提出して標準修業年限満了退学(注1)をすることができます。また、退学前に研究科・専攻の定めるプロセス(中間報告等)を経ていれば、博士後期課程入学時(再入学時ではない)より起算して6年以内(注2)に再入学願(通常の再入学とは異なる)とともに博士学位申請論文を提出し、課程博士の学位を取得することができます。

なお、この期限を過ぎて博士学位申請論文を提出する場合は、学位規則第7条第2号により取り扱われることとなります。(論文博士)

(注1) 単位制の専攻は博士後期課程単位取得済退学

(注2) 休学期間および退学後経過した期間も含む。遅くとも入学後6年目の10月上旬までに。

6)除籍

休学あるいは退学等の願い出を行わないまま履修登録をしない、学費を期限内に納入しない、などの事実がある場合は、学業継続の意志なき者とみなし「除籍」の処置がとられ、学籍簿より抹消します。除籍者には、除籍の証明以外一切の証明書の発行が停止され、再入学の資格も失うことになります。

11. 専門職大学院教務課の事務取扱について

1)所在地

17号館2階スチューデントセンター

2)窓口で取扱う業務

- ・履修、成績に関すること
- ・授業に関すること
- ・休学、退学などの学籍に関すること
- ・証明書に関すること

3)窓口・取扱時間

授業期間

月～金 9:00～11:30 12:30～18:30

土 9:00～11:30 12:30～13:00

※日曜日、祝日、その他大学が定める休業日は事務取扱をしません。

※長期休業など、授業期間外の事務取扱については「学生ポータル」や大学ウェブサイトでお知らせします。

12. 国際マネジメント研究科合同研究室の事務取扱について

1)所在地

17号館11階

2)窓口で取扱う業務

- ・コピー、ロッカーの利用管理
- ・図書資料室管理
- ・授業用資料受渡し
- ・演習室管理

3)窓口・取扱時間

授業期間

月～金 10:30～11:30 12:30～22:00

土 8:30～18:30

※日曜日、祝日、その他大学が定める休業日は事務取扱をしません。

※長期休業など、授業期間外の事務取扱については「学生ポータル」でお知らせします。

13. 授業担当教員への連絡について

授業担当教員への連絡は青学Moodle、または学生公開用メールアドレスを使用してください。学生公開用メールアドレス一覧はABSウェブサイトの「在学生専用ページ」をご確認ください。

なお、ページアクセス、ファイル閲覧するためにはサインインが必要です。(ユーザー名、パスワードは4月に「学生ポータル」に配信します。)

14. 青山キャンパスマップ



- ◆1号館
購買会：1階
- ◆2号館
遺失物センター：1階
- ◆7号館
保健管理センター：1階
学生相談センター：1階
- ◆17号館
専門職大学院教務課：2階学生センター内
国際マネジメント研究科合同研究室：11階
国際マネジメント研究科教室：8階、11階
国際マネジメント研究科博士課程研究室/学生ラウンジ：11階
- ◆18号館
情報メディアセンターサポートラウンジ：1階

学生生活上の諸注意

専 門 職 学 位 課 程
一 貫 制 博 士 課 程
博 士 後 期 課 程
(共 通)

専門職大学院教務課

1. 窓口事務取扱内容および取扱時間

青山学院大学 HP で確認してください。 <https://www.aoyama.ac.jp/inquiry/>

2. 大学院からの通知連絡について

大学院では、学生が円滑な大学生活を送ることができるよう、必要に応じ各種通知・連絡を「学生ポータル"Eago Wing"」「掲示」により行います。内容によっては、知らなかったために不利益を被ることもあるので常に「学生ポータル」と掲示には注意してください。

なお、電話による問い合わせは、間違いを生じやすいので応じられません。

<専門職大学院教務課からの伝達：「学生ポータル」の利用方法等>

「学生ポータル」の利用方法等に関する詳細は、「学生ポータル"Eago Wing"利用案内」を参照してください。「学生ポータル」は、Webによる情報提供をします。「休講情報」や「緊急メッセージ」、その他大学院からの通知・連絡など、Web利用環境があれば、場所・時間に制約されず学外からの利用も可能です。自宅のパソコンや携帯電話等、任意のメールアドレスに転送することが可能ですので、工夫して活用してください。研究科によっては、以下の掲示場所に掲示もします。

研究科	掲示場所
国際マネジメント研究科	17号館8階エレベーター前、11階エレベーター前
会計プロフェッション研究科	16号館1階学生ロビー

3. 各種証明書について

証明書の発行については、下の表を参照してください。証明書の種類によっては申し込み後、すぐに発行できない場合もありますので十分留意してください。また、電話による申し込みは、一切受け付けていませんので、証明書を必要とする場合は、「学生ポータル」の証明書メニュー、大学ウェブページ、窓口、郵送にて申請してください。

なお、窓口では、本人であることが確認できる身分証明書(学生証、運転免許証、パスポート、健康保険証等のいずれか)を提示して申し込んでください。

また、代理人による申請の場合は、①委任状、②申請者本人の身分証明書(学生証、運転免許証、パスポート、健康保険証等のいずれか)のコピー、③代理人の身分証明書(運転免許証、パスポート、健康保険証等のいずれか)が必要となります。

種類	問い合わせ窓口
①在学証明書 ②成績証明書 ③履修科目証明書 ④修了見込証明書	専門職大学院教務課
⑤健康診断証明書	保健管理センター
⑥学生旅客運賃割引証(学割証) ⑦通学証明書(一部のバス会社等)	学生生活課

※スケジュール等詳細は「学生ポータル」を参照してください。

※提出先が定めた指定書式による証明書が必要な場合は、専門職大学院教務課まで問い合わせてください。

※証明書用封筒は専門職大学院教務課または保健管理センター窓口でお渡しします。また、厳封が必要な場合は窓口申し出てください。

※学割証は、17号館2階に設置してあります学内証明書発行機(在学生のみ利用可能)又は郵送申込み(送料自己負担)で取得可能です。

※上記以外の証明書が必要な場合は窓口で相談してください。

4.大学礼拝

大学礼拝について

大学では、大学礼拝をキリスト教活動の中心に位置づけており、月曜日から金曜日までの毎日10:30～11:00および火曜日の18:30～19:00に礼拝をささげています。大学礼拝はキリスト教信仰を土台とする青山学院の建学の精神を最も具体的に示す場であるとともに、学生のみなさんにキリスト教による人格教育を行う場でもあります。礼拝の説教者は主として宗教主任、宣教師、学内のクリスチャン教師があたるほか、教会の牧師や海外からの来訪者が担当することもあります。英語礼拝や特別礼拝(チャペル・ウィーク、クリスマスなど)もあります。大学院生も礼拝にぜひ積極的に出席してください。なお、詳細は「青山学院大学礼拝週報」(宗教センターで毎週発行)をご覧ください。

5.緊急時の「授業の取り扱い」および「伝達手段」について

事故、災害などにより通常利用している交通機関の運行が停止した場合の取扱いは次のとおりとします。下記2、3は、大学ホームページで確認してください。

1. 通常利用している交通機関運休時における対応

- ① 代替交通機関を利用して登校が可能と判断できた場合には、危険な状況でない限り、極力、登校するよう努めてください。
- ② 代替交通機関の利用がかなわず登校できなかった場合には、専門職大学院教務課で「交通機関不通による授業欠席届」の用紙を受け取り、必要事項を記入のうえ、交通機関等が発行した遅延証明書、事故証明書等を添えて授業担当者に提出して欠席分の学習補填の指示を受けてください。
※研究科ごとに特段の取り扱いがある場合は、その指示に従ってください。

2. 台風の接近時などの対応

台風の接近などによる被害が予想される場合には、休講等の特別措置がとられることがあります。

3. 大規模地震の発生が予想されるときへの対応

- ① 大規模地震対策特別措置法による「地震防災対策強化地域判定会」の招集が報道された時点で休校措置がとられます。
- ② 警戒宣言が解除され、または「判定会」が解散されたときは、休校を解き、平常授業に戻ります。

MEMO

地の塩、世の光
The Salt of the Earth, The Light of the World
青山学院スクール・モットー